

昆虫文献 六本脚 出版物・新着図書・雑誌情報

日頃より「昆虫文献 六本脚」をご愛顧頂き誠にありがとうございます。

2022年7月号

総額表示義務化に伴い、2021年4月1日から、すべて税込表記（一部本体価格併記）となりますことご了承下さい。

<新着図書>

私のラオス蝶類図譜 ★予約受付中 (2022年8月下旬入荷予定)



My Illustrated Checklist of Butterflies in Lao P.D.R.

小野寺 博昭, 2022.

A4, 391pp., 267pls, フルカラー, 別冊(簡易解説)A4, 171pp., 箱付
価格: 22,000円(税込・送料別)

12年間にラオスを28回(延べ滞在日数413日)訪れた著者の集大成となります。著者の自己採集にこだわった765種(ラオス産蝶類の約75%)が図示され、「ラオス蝶類図譜」(長田ほか,1999)に掲載されていない62種も図示されています。別冊の解説

とあわせて読むと、臨場感あられる本書を楽しむことができますでしょう。

図鑑を見ても名前がわからないのはなぜか?



須黒達巳, 2021.

A5, 184pp. 価格: 2,200円(税込)
生きものの種を確定させることを「同定」といいます。「同定なんて図鑑をパラパラめくって同じのを探せばいいでしょ」と思う人もいるかもしれませんが、そんな簡単なことではありません。「似ているのが多くて同定に自信がもてない」「どうしてパッと見て同定ができないんだろう……」。生きものが好きな人のなかにもこのように思っている方はたくさんいます。「なぜ

うまく同定できないのか」「どうやって同定ができるようになるのか」を真剣に考えたのが本書です。勤務先の敷地内で昆虫とクモ 800種以上を同定してきた、同定大好きな著者がお届けする、図鑑と同定のことをトコトン掘り下げた一冊。

怪虫ざんまい—昆虫学者は今日も挙動不審—



小松 貴, 2022.

四六判, 254pp. 価格: 1,650円(税込)

凄絶ホラーな寄生虫、ミススマシだけにつく幻のカビ、地球史を語る透明な甲虫、冬に碧く輝く超希少ゴムムシ、井戸の底に潜む新種らしきプラナリア……。『裏山の奇人』の異名をとるコマツ博士の、暴走する「昆虫愛」エッセイとなっています。

昆虫学者の目のツケドコロ



井手竜也, 2021. 四六判, 271pp. 価格: 2,090円(税込)

昆虫の研究者は、昆虫を見てどんなことを考えているのか? 研究対象に没頭するその目には、そこにいる虫だけではなく、いろいろなものが映っています。国立科学博物館に勤務する著者が、誰もが知っている身近な昆虫をとおして見えてくる、虫たちのおもしろくて奥深い世界を紹介しています。気づいたときには、あなたも昆虫学者になっているはず! 昆虫が気になるすべての方に

送る、世界が広がる一冊。

土の中の生き物たちのはなし

島野智之・長谷川元洋・萩原康夫(編), 2022. A5, 170pp. 価格: 3,300円(税込)
土壤動物の専門家 16名が執筆される最新の書籍。「土壤動物とは」からはじまり、きのこの関係やミズシヤヤステ、ダニなどを含む応用分野にまたがった研究内容も紹介されています。最終章の「土壤動物を活用した学校教育プログラムの提案」では、小中学校における土壤動物教育プログラムの提案や注意点など、現場で役に立つ情報も掲載されています。

虫のオスとメス、見分けられますか?



森上信夫, 2022. A5, 96pp., 1,760円

(税込) 虫のオスとメス、カブトムシやクワガタムシはツノやアゴなどで見分けられますが、タマシヤやカマキリ、ナナホシテントウなどはどうでしょう? これらはよく知っている昆虫ですが、オスとメスの違いを聞かれるとちょっと迷ってしまいますね。本書は、身近で見られる虫を125種ほど取り上げ、オスとメスの違いを紹介しています。子どもから大人まで大人気の虫や、虫好きでも違いをなかなか知らないよう

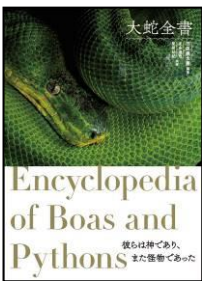
うな虫まで盛りだくさん。さらに見た目ではなく、行動や生態で雌雄を見分けることができる虫もいるので、本書で昆虫観察がさらに楽しくなること間違いありません。著者は、昆虫の体の部位別の視点、また、昆虫のグループにより識別点が共通化できる場合には分類別の視点、この2つの着眼点から身近な昆虫の雌雄識別を可能とすることをめざしたと言います。雌雄がわかれば野外観察の意義もいっそう深まり、虫たちの行動の意図を、より正確に理解できるようになるかもしれません。

花と昆虫のしたたかで素敵な関係 受粉にまつわる生態学



石井 博, 2020. 四六判, 291pp. 価格: 1,980 円 (税込)
陸上植物種の約 9 割は被子植物で占められています。このように陸上で繁栄を謳歌している被子植物のうち、さらにその約 9 割の種は、受粉のための花粉の運搬(送粉)を、動物(主に昆虫)に依存しているといわれています。なぜ、これほどまでに多くの植物種が、受粉を動物たちに頼るようになったのでしょうか。植物が花を咲かせる目的(種子をつくる)は、どの植物種でも同じはずなのに、なぜ植物が咲かせる花はこんなに多様なのでしょうか。花と花粉を運ぶ動物たちにまつわるさまざまな話題を最新の知見も取り入れながら、たくさんの方のカラー写真とともに、わかりやすく丁寧に解説します。

大蛇全書



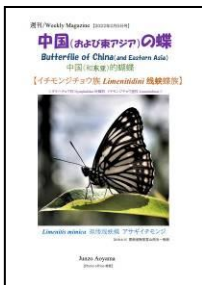
田原義太慶 (編著)・柴田弘紀 (編)・友永達也 (編), 2022.
B5, 384pp., フルカラー, 並製本. 価格: 4,500 円 (税込) 4,950 円)
前作『毒ヘビ全書』からさらに進化したヘビ図鑑をお届けします。
今回は世界の巨大なヘビたちを集めた「大蛇全書」。大きな獲物を飲み込む仕組みや、獲物の熱を感知する「ピット器官」の解説のほか、図鑑ページでは 3 メートル、5 メートル、果ては 10 メートル近い個体

も記録されている世界各地の巨大なヘビたちを美しい写真で、そして過去の捕獲記録などから詳しく解説されています。特集ページは前回に続き神話や伝承の話題、過去にヒトを襲った事故の例などあらゆる大蛇の豆知識を紹介。この 1 冊で世界の「怪物たち」がわかる内容に仕上げられています。

◆ご注意◆

下記の「週刊 中国 (および東アジア) の蝶」シリーズは「オンデマンド印刷」の書籍です。すなわち、ご注文を頂いてから印刷の手配をいたしますので、納品までに約 2~5 週間ほどお時間を頂く場合がございます。また本シリーズは個人出版の書籍です。本書にはページ番号の飛びや欠落がありますが、落丁等ではございません。予めご了承の上、ご購入下さい。自費出版のため、一般の書店では入手できません。

中国 (および東アジア) の蝶



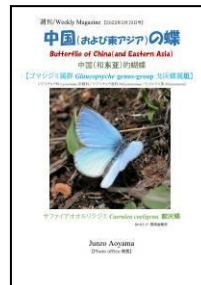
No.6 (2022年2月5日号)
タテハチョウ科イチモンジチョウ族
Weekly Magazine Butterflies of China (and Eastern Asia), 5 Feb.2022, Limenitidini, Limenitidinae, Nymphalidae.
A5 版, 86pp. テキスト: 日本語・英語・中国語 併記
Text: English, Chinese, Japanese 価格: 3,960 円 (税込・送料別)
イチモンジチョウ亜科 Limenitidinae のうち、イチモンジチョウ族 Limenitidini に所属する種を広義のイチモンジチョウ属 Limenitis とし、生態写真の撮影を行った 27 種を紹介しました。図鑑部のほかに、「中国のチョウ (東海大学出版会) 1998」を再録 (9section への分割再編および雄交尾器図、ベニホシイチモンジ族の *Seokia prattii* と *Chalinga elwesi* に関するオリジナル報文も含む)。表紙は *Limenitis mimica* アサギイチモンジ。

中国 (および東アジア) の蝶 No.7 (2022年2月12日号)



シロチョウ科ツマキチョウ族
Weekly Magazine Butterflies of China (and Eastern Asia), 12 Feb.2022, Anthocharini, Pierinae, Pieridae. A5 版, 34pp. (本文ページが p.2 からはじまっていますことご承知お願いたします) テキスト: 日本語・英語・中国語 併記 Text: English, Chinese, Japanese 価格: 2,970 円 (税込・送料別)
本号はシロチョウ科ツマキチョウ族 Anthocharini です(表紙は *Anthocharis bieti* ユキワリツマキチョウ。中国産の 4 種 (*Anthocharis scolymus*, *A. bieti* *A. cardamines*, *A. bumbusarum*) を紹介。

中国 (および東アジア) の蝶 No.8 (2022年2月19日号)



シジミチョウ科ゴマシジミ属群
Weekly Magazine Butterflies of China (and Eastern Asia), 19 Feb.2022, Glaucopsyche genus-group, Lycaenidae. A5 版, 78pp. (本文ページが p.2 からはじまっていますことご承知お願いたします) テキスト: 日本語・英語・中国語 併記 Text: English, Chinese, Japanese 価格: 3,960 円 (税込・送料別)
本号はシジミチョウ科ゴマシジミ属群 *Glaucopsyche* genus-group です (表紙は *Caerulea coeligena* サファイアオオルリシジミ)。中国産のヒメオオルリシジミ *Sinia lanty* とサファイアオオルリシジミ *Caerulea coeligena* を中心に紹介していきます。いくつかの既発表の報文も採録。

中国 (および東アジア) の蝶 No.9 (2022年2月26日号)



セセリチョウ科タカネキマダラセセリ亜科
Weekly Magazine Butterflies of China (and Eastern Asia), 26 Feb.2022, Heteropterinae, Hesperidae.
A5 版, 30pp. (本文ページが p.2 からはじまり、p.31 となるページが p.「27」となっておりますことご承知お願いたします) テキスト: 日本語・英語・中国語 併記 Text: English, Chinese, Japanese 価格: 3,080 円 (税込・送料別)
本号はセセリチョウ科タカネキマダラセ

セリ亜科 *Heteropterinae* です (表紙はシロモンタカネセセリ *Carterocephalus dieckmanni*)。中国産タカネキマダラセセリ 15 種の紹介と生態写真 6 種。および、同亜科に所属する (分割する見解もあり) マガリバセリ *Apostictopterus fuliginosus* とミイロセセリ *Barca bicolor* の紹介も行います。特殊な翅の構造を持つ前者については、これまでに発表した報文の再録も加えました。近く英語/中国語版も刊行予定しています。

中国 (および東アジア) の蝶 No.10 (2022年3月5日号)



シジミチョウ科ツバメシジミ類
Weekly Magazine Butterflies of China (and Eastern Asia), 5 Mar.2022, Polyommatini Cupido-section, Lycaenidae.
A5 版, 58pp. (本文ページが p.2 からはじまっていますことご承知お願いたします) テキスト: 日本語・英語・中国語 併記 Text: English, Chinese, Japanese 価格: 3,630 円 (税込・送料別)
本号はシジミチョウ科ツバメシジミ類

Polyommata Cupido-section です(表紙はウスズミツバメシジミ Cupido argiades huegelii [仮同定])。中国雲南省産ツバメシジミ(ウスズミツバメシジミ)を中心に、3属10種前後の生態写真と解説。近く英語/中国語版も刊行予定しています。

<新着 月刊誌・季刊誌>

月刊むし(むし社)

2022年8月号(通巻618号) B5, 64pp, 1,320円(税込・送料別)



[表紙] キガシラアオアトキリゴミムシ 山口 茂, 今月のむし ナガヒョウホムシ 森川正昭, 千葉県の新産地の記録 松井正通・松井克彦, 絶滅危惧種スナハラゴミムシの野外における餌メニュー ~特にタニシへの顕著な行動について~ 小松 貴, ミルンヤン成熟期の飛翔行動について 喜多英人, 西表島で発生しているルリモンジャンノメ 長瀬正

義・菅原春良・高橋 直, 千葉県で30年ぶりにツマグロキチョウの生息を確認 山田哲也, むしやの広場 飲む「昆虫館 Bar Species」誕生 本誌編集部, 茨城県北部の沿岸部で得られた興味深いコマツキムシ, ソウムシ 公文保幸, 木村欣二さんの「多摩川だより」 藤田 宏, 【KIROKU・HOKOKU(13編)】, 三重県でケナガカミキリを採集 坂上光一, 波照間島でチョウトンボを採集 小浜継雄・青木一幸, 静岡県湖西市でウスコモンダラ撮影 松浦永幸, 山梨県からのマグソクワガタの記録 宮尾真矢, 福島県におけるヤツボシハムシの採集記録 三田村敏正, キノミハナカミキリ(キヒメハナカミキリ)とフタオビノミハナカミキリの混棲事例 望月寛人・多富 敏・野中 充, 千葉県における遠洋性ウミアメンボ2種の初記録 相蘇 巧・板倉拓人・高橋里奈, 飼育で羽化したヤクシマルリシジミの翅形異常 白井和伸, 沖縄島で野外において確認したトゲナナフシの食餌植物 小浜継雄・内田晃士, キタミズカメムシの長翅型の採集記録 齊藤開斗・富永豪太・相蘇 巧, 左後翅が白濁した奇形のニホンカワトンボ♀を採集 白澤良一, 茨城県におけるシンジュキノカワガタの記録 札 周平, 慶良間諸島阿嘉島のカミキリムシ(2) 畑 宏史, 虫誌ダイジェスト 橿原市昆虫館研究報告・他 本誌編集部, 編集後記

BE-KUWA(むし社)

No.84(2022年7月発行) A4, 128pp, 1,430円(税込)



ヘラクレスオオカブト大特集!! ヘラクレスオオカブト大図鑑 小林 一秀, HirokA のヘラクレスオオカブト飼育法 河野 博史, 日本産クワガタムシ採集記 追憶の伊豆大島ノコギリクワガタ採集記 酒井 舜, 虫のためなら、どこへでも! 野澤 巨伸, 隙間産業的飼育 サマチフマタクワガタ編 安部 浩平, 編集部からのお知らせ 中伊豆採集奇譚 青O店長, 山梨オオクワ採集 台木の上にも3年! 長坂 敬司, きれいな標本の作り方 土屋

利行, オオクワフリーダーの熱を伝えろ! 心を燃やせ! 目指せ90mm! 久留米 vs 能勢バトル KLB, ヘラクレスオオカブト Dynastes hercules に関する分類学的考察 小林 一秀, 80mmフリーダーから学ぶゼロからはじめる巨大オオクワガタの育て方 上級編 奎目, オオクワブレイク ピークワ版 ワイドカウ, 21世紀版 クワガタムシ飼育のスーパーテクニック 小島 啓史, 読者と執筆者と編集部をつなぐ井戸端会議室, び〜くわ横丁, クワガタ用語の基礎知識, 編集後記

昆虫と自然(ニューサイエンス社)

2022年8月号(Vol.57 No.9) B5, 40pp, 1,682円(税込 1,850円)



特集・南西諸島に関連する昆虫の分布拡大種 Tropical and neotropical insect species expanding their distribution in Japan, 総論: 南西諸島から分布を拡大した昆虫たち 平井 規央, リュウキュウベニイトトンボの分布拡大 一温暖化と随伴移入一 苅部 治紀, アギトアリの分布拡大 砂村 栄力, 奄美大島で継続発生しているフタオチョウ 楠本 優作, 鹿児島島に侵入したラデンキンカメムシ 金井 賢一, 本州で分布を拡大するカメノコハムシ亜科2種の生活史 春木 洋人・上田 昇平・平井 規央, 連載 日本の迷蝶 (9)これまで日本で記録された迷蝶の近況について(2) 高橋 直, 報文 ショウリョウバッタがキチキチ音を発する仕組み 久我 立, INSECTS REPORTS 熱帯性のカミキリムシにおける休眠のない多化性の生活史 新谷 喜紀

季刊ゆずりは(NRC出版)

No.94(2022年7月1日) A4, 64pp, 2,000円(税込・送料別)



白いウスバシロチョウ 荻野秀一, 山形県小国町のギフチョウ異常型3頭を同日に採集 野村孝明, 村田泰隆さん遺作集・選(7) ヨーロッパの蝶 浜祥明編, 蝶の異常型いろいろ(2) 佐々木孝明, 福岡県宗像地域(大島・地島)におけるクロツバメシジミの変異と発生状況について 横山司・今井敬純・吉崎孝, 絶滅危惧種の撮影記 大塚啓, 種子島のミヤマカラスガ 有田晋, ウラナミアカシジミの産卵について 浜祥明, 2021年春奄美

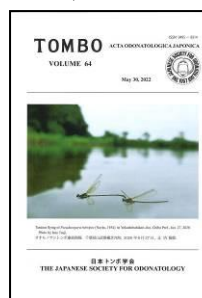
大島ツアー 近藤高明, 【追悼】藤岡知夫氏のご逝去を悼む 渡辺康之, 希代のむしや・西山保典 西村正賢, 西山保典さんを偲ぶ 杠隆史, 大野義昭氏を偲んで 渡辺康之, 大野義昭さんの思い出 杠隆史, 【連載シリーズ】止々呂美哀歌 94 夏秋 優, むしの風景 43 鷹巣のオオヒカゲ 近藤伸一, 撮影記 49 キアゲハ 新井雅夫, 【ゆずりはメモ】小浜島でメスカムラサキのイナリア型を採集 平林徹也, 沖縄県小浜島でのシロウラナミシジミの採集記録 畑 薫, クロアゲハ無尾型の記録 河上誓作, 【Books(新刊紹介)】森上信夫著「虫のオスとメス, 見分けられますか?」 浜祥明, 長岡久人著「大陸ベニヒカゲ紀行」 寺草夫, 森地重博・清水聡司・奥山清市著「かんたん識別! 身近なチョウ」 岸本由美子, メモリアルベストショット 51 クロコムラサキ 梅村三千代, ゆずりはギャラリー-85 「赤いストーリー」スミナガシ 中橋利和

<新着 学会誌・同好会誌>

日本蜻蛉学会会誌

TOMBO ACTA ODONATOLOGICA JAPONICA

Vol. 64(2022年5月発行) B5, 60pp, 3,000円(税込・送料別)



【原著論文】Phan, Q. T., Choong, C. Y. & Karube, H.: Morphological features of Drepanosticta versicolor (Laidlaw, 1931) from Malaysian Borneo with notes on its allied species (Odonata: Zygoptera: Platystictidae) 【短報】石垣島産ヒロオビオニヤンマ幼虫と兵庫県産オニヤンマ幼虫の前下唇形態の相違 青木典司, チョウセンエリトンボ名義タイプ 亜種を山梨県から初記録 山内唯志・池田和隆, トンボ羽化殻で見られた幼虫期の損傷箇所が再生・修復した

3 事例 鶴殿清文・大野徹, 栃木県で得られたニホンカワトンボ

の橙色翅型と無色翅型の間中型 深谷航・二橋亮, 神奈川県におけるアサヒナカワトンボの褐色翅個体の記録 川島逸郎・二橋亮, 岡山県から発見されたアサヒナカワトンボの褐色翅個体 脇本浩・守安敦・二橋亮, シオカラトンボ属の黒化異常個体 二橋亮, ミルンヤンマ♀の交尾拒否行動およびの噛みつき行動 喜多英人, 雄同士で交尾態になったヒラサナエ 山本哲史, 福島県只見町で二ホンカワトンボを10月に確認 太田祥作, 北海道宗谷地方で48年ぶりにイジマルリボシヤンマを採集 川崎正大・横山透, 青森県で発見されたネキトンボ 奈良岡弘治・幸田洋平, 福島県で46年ぶりにキイロヤマトンボを確認 齋藤舜貴・二橋亮, 長野県からムスジイトンボを初記録 酒井昇治・小池文男, 愛知県からヒメギンヤンマを初記録 齋藤舜貴・三橋亮, 【書評】喜多英人(著), 須田真一(監修)『東京都のトンボ』二橋亮, 【追悼】東和敬博士追悼トンボ生態学研究的のバイオニア一 生方秀紀, 東和敬先生 ありがとうございました 中反正登, 東和敬博士(Dr. Kazunori Higashi; 1935-2021)研究業績一覽 生方秀紀(編), 高橋克成さんを偲んで 奈良岡弘治, 乾風登氏トンボ関連著述目録(TOMBO,63: 99-102)の訂正 宮崎俊行・笹本彰彦, 63巻正誤表, 2021年度日本トンボ学会大会, 編集後記

はなあぶ(双翅目談話会)

No.53 (2022年4月発行) B5, 72pp, 1,500円(税込・送料別)



鞆公園(大阪市西区)の有弁翅類の記録 大宮正也, *Eliozepta helluo*(双翅目, ヤドリバ工科)の大阪府の記録(国内2例目) 大宮正也, 南西諸島の有弁翅類の記録 大宮正也, *Anechuromyia nigrescens*(双翅目, ヤドリバ工科)を滋賀県で採集 大宮正也, 岐阜県境で採集された *Ronineauella* 属(双翅目, ニクバ工科)2種 大宮正也, 群馬県におけるネグロクサアブおよびベッコウタマユラアブの採集記録 金杉隆雄, モンキモブトハナアブ *Pseudovolucella*

decipiens を低地の都市公園で採集 桂 孝次郎, ウミベカトリバ工の紀伊半島からの記録 吉澤聡史, マダラカモドキ(双翅目, カモドキ科)を神奈川県で採集 深沢勇太, 岐阜県におけるジョウザンナガハナアブの初記録 深沢勇太・川村康平, コウモリ冬眠集団の近傍で採集された *Tenuia smirnovi* Shatalkin 1994 ドクロニセヒメコバ工(和名新称)(双翅目:ニセヒメコバ工科) 酒井淳一, 山口県におけるアシナガバ工科の採集記録 田中伸一, 神奈川県において採集された *Alluaudomyia onoi* Tokunaga オノテンテンモンヌカカ(和名新称)(双翅目:ヌカカ科) 小菅皇夫, 京都府亀岡市でのハチモドキハナアブの記録 岩井大輔, 京都府亀岡市でのルリハナアブ生息地の消失・改変 岩井大輔, 2018年に岐阜県乗鞍岳と双六岳で確認したハナアブ 川瀬英夫, 日本産 *Suillia* キイロトゲハネバ工属について 市毛勝義, 秋田県・山形県・宮城県で採集した双翅目 市毛勝義, 茨城県のツヤホソバ工科 市毛勝義, はなあぶ No.51 の訂正(市毛勝義)

房総の昆虫(千葉県昆虫談話会)

No.70 (2022年6月発行) 86pp, 3,143円(税込・送料別)



【調査報告等】佐倉市佐倉城址の昆虫(III) 城田義友, 生態園のトンボー2021年の試みと追加種一 松本和雄・林紀男・小松新, 西印旛沼周辺地域の甲虫調査報告(追加・その2) 鈴木勝, 千葉県千葉市にて採集したカミキリムシ類の記録 長田光生, 2021年の東金市におけるアサギマダラのマーキング調査報告 安川憲・斉藤明子, 市川市冬季の注目すべきキリガ類 松本浩一, 県北部で特記すべき冬夜蛾の記録(2) 城田義友, 船橋市で確認したサナエトンボ科3種 高橋 学, ヒメジウジナガカ

ムムシ第2世代の室内飼育記録 安川憲, 東金市におけるヒメジウジナガカメムシの第2世代の野外定点調査報告 安川憲, 夏眠中と推測されるハラグロオオテントウ成虫を館山市で採集 高橋学, ニホンミツバチの巣に侵入したクロメンガタスズメー2010年の状況一 伊藤文子・斉藤修, 2021年千葉県市におけるクロマダラソテツシジミの調査報告 大塚市郎, 【短報】東金市でクロマダラソテツシジミを採集 吉川厚之, 2021年千葉県県内で採集したクロマダラソテツシジミの記録 田中敏博, 野田市でクロマダラソテツシジミを発見 柳澤勉, 習志野市でクロマダラソテツシジミを採集 長田庸平, 千葉市中央区千葉寺町でアカボシゴマダラを採集 尾崎俊文, 2021年のアカボシゴマダラ成虫の記録 吉川厚之, 茂原市でオオチャバネセセリを採集 吉川厚之, 2021年に千葉県県内で確認したジャンメチョウ 吉川厚之, 12月中旬にチャバネセセリを目撃 吉川厚之, 長生郡長南町味庄でヤマキマダラヒカゲを採集 吉川厚之, 浦安市における2種のチョウの記録 長田庸平・入江健太, ヒメウラナミジャノメの遅い記録 大塚市郎, 長柄町山之郷でアオハセセリを採集 吉川厚之, 君津市内陸部でムラサキツバメを採集 和田一郎, 市川市におけるヒオドシチョウとクロマダラソテツシジミの記録 鳥越邦博, カザリハ属(鱗翅目, カザリハガ科)4種の記録 田中敏博, 銚子市でベニゴマダラヒトリを採集 渡辺弘, 浦安市でムクゲコノハとピロードハマキを採集 長田庸平・入江健太, 館山市でナカオビノメイガを採集 渡辺弘, 浦安市でショウリョウバッタモドキを確認 長田庸平・入江健太, 君津市でタイワントビナナフシを採集 和田一郎, 印西市でホソミイトンボを冬季に記録 富士新吾, 2015年以降に千葉県県内で確認したヤマサナエの記録 高橋学, 印西市でヤマサナエの幼虫を採集 松本和雄・小松新, 習志野市でホソミイトンボを記録 松本和雄・松本悟, タイワンウチワヤンマ 2021年の記録 互井賢二, 富津市でハマベナガカメムシを採集 望月政樹, 柏市でクスベヒラタカスミカメを採集 長田庸平, 八千代市でキマダラカメムシを採集 長田庸平, 千葉県初記録のハリサシガメ 伴光哲, 千葉県初記録のマルガタオオヒラタカメムシ 斉藤明子・嶋本智介, 房総の丘陵地帯におけるコカブトムシの採集例 尾崎俊文, 千葉県産ウススキボシハナノミの追加記録 中村涼, 佐倉市でコゲチャサビカミキリを採集 源河正明, 君津市でネギオオアラメハムシを採集 西泰弘, 越冬中のカラタチトビハムシを採集 源河正明, 千葉県初記録のヒラムネホソヒラタムシ 伊藤敏仁, オビデオソウムシを市川市で採集 松本浩一, 南房総市からのニセマグソコガネダマシの追加記録 亀澤洋, 千葉県県内で確認した虫こぶ 鳥越邦博, 千葉県におけるクロクブカゴミムシの採集記録 中村涼・西泰弘・伴光哲, 【訂正】「千葉県周辺におけるヤマキマダラヒカゲの分布状況」の訂正 高橋学, 【調査報告等・続報】「東京大学千葉演習林の昆虫相」の追加と訂正 その6 尾崎輝雄・中村涼・斉藤 明子, 千葉県の甲虫確認種数(2021年3月現在) 鈴木勝・斉藤明子

昆虫文献 六本脚

URL: <http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/>

EMAIL: roppon-ashi@kawamo.co.jp

〒102-0075

東京都千代田区三番町 24-3 三番町 MY ビル 3 階

TEL : 03-6825-1164 FAX : 03-5213-1600

定休日: 土、日、祝日 営業時間: 13:00~17:30

●当社の口座は以下の通りです。

ゆうちょ銀行口座: 記号 001202 番号 18588

郵便振替口座: 00120-2-18588

銀行口座: 三菱UFJ銀行 室町(ムロマチ)支店

普通預金 3962446

※口座名義は「昆虫文献 六本脚」

(コンチュウブンケン ロッポンアシ)

